



就任のごあいさつ

茨城県企画部統計課長
茨城県統計協会副会長

大 森 基 弘

このたび、4月1日付けをもちまして統計課長を拝命致しますとともに、統計協会副会長の職をお引き受けすることとなりました。

市町村統計担当者をはじめ統計関係者の皆様には、日頃、統計行政に対する深い御理解と絶大なる御尽力により、各種統計調査が円滑に進み多大の成果をあげられていることに対し、心から感謝申し上げます。

社会的にも、経済的にも不安定である今日においてこそ、統計の果たすべき役割は一層重要なものとなります。一步一步着実に築き上げられてきた統計資料には、これまで以上に重みが増すと思われま

す。統計資料を一人でも多くの方に目にさせていただくためにも、利用される方々の需要に十分に応え、より充実した的確な統計情報を迅速かつ正確に提供できるよう邁進する所存でございます。

本年度は、国勢調査の実施される年であります。国勢調査は我が国の人口の実態を把握し、各種行政施策その他の基礎資料を得ることをその目的としておりますが、近年の社会経済情勢の変化や調査の実施をめぐる環境の変化等を踏まえ、皆様にはこれまで以上の御支援、御協力を仰がなければなりません。

最後に、第一線で御活躍されている調査員の皆様、市町村統計担当者をはじめとする統計関係者の皆様のより一層の御支援、御協力を重ねてお願い申し上げますとともに、皆様のますますの御発展を祈念致しまして、就任のあいさつと致します。



退任のごあいさつ

(前) 茨城県企画部統計課長
茨城県統計協会副会長

古 内 充

このたび、3月31日付をもちまして茨城県職員としての生活に幕を閉じました。

2年間の統計課在任中は、国並びに市町村統計担当者をはじめとする統計関係者の皆様の温かい御支援、御協力をいただき、大過なくその職責を全うすることができました。心から御礼申し上げる次第でございます。

研修会等を通して第一線で御活躍されている調査員の皆様、市町村統計担当者の皆様と直に接し、改めて統計調査の現在おかれている環境の厳しさを痛感致しました。皆様の御苦勞に対し敬意を表しますとともに、皆様の御尽力により統計業務が円滑に推進できましたことに感謝申し上げます。また、統計行政の持つ重要性に鑑み今後とも御支援、御協力くださいますようお願い致します。

本年度には国勢調査が行われます。今回の国勢調査は本県の21世紀の指針ともなる非常に重大な意味を持つものです。その重要性を十分に御理解いただき、立派な成果を上げられますよう祈念しております。

今後とも一層の御厚情と御指導とを賜りますようお願い申し上げます、御礼と退任のあいさつとさせていただきます。

統計課の人事異動

次のとおり異動がありましたので、よろしくお願い致します。(敬称略)

〈転入者〉

平成7年4月1日付け

職名	氏名	グループ名	旧所属
課長	大森基弘	—	企業局業務課
課長補佐	吉川紘之	商工農林	消防防災課
課長補佐	室町國照	分析情報	友部病院
課長補佐	川上忠行	消費生活	水戸保健所
係長	稲見まり子	人口労働	農地管理課
係長	水越隆之	商工農林	土浦土木事務所
主任	團雷太	消費生活	出納第一課
主事	平井啓子	商工農林	水戸生涯学習センター
主事	大友直樹	普及指導	(新採)
主事	根本雅恵	分析情報	(新採)
主事	植木利佳	消費生活	(新採)

〈転出者〉

平成7年4月1日付け

氏名	グループ名	新所属	新職名
中村富藏	普及指導	水戸工業高等学校	事務室長
高久繁文	分析情報	鉾田地方福祉事務所	課長
柏村昌子	人口労働	出納第二課	係長
木村泰昭	商工農林	大宮土木事務所	係長
藤ヶ崎匡彦	商工農林	水産振興課	主任
池田淳	普及指導	鹿行地方総合事務所	主任
和田久男	商工農林	中央児童相談所	主任
石井孝一	普及指導	税務課	主任
水飼啓治	人口労働	境県税事務所	主事
南純二	消費生活	土浦土地改良事務所	主事

〈退職者〉

平成7年3月31日付け

職名	氏名	グループ名
課長	古内充	—
課長補佐	河辺芳雄	消費生活

新 人 の プ ロ フ ィ ー ル

新たに統計課に勤務する職員に、自己紹介を兼ねて、日頃感じている事等を執筆してもらいましたので御紹介致します。



文 化

商工農林グループ

課長補佐 吉川 紘之

文化は、その土地の気候や風土、歴史により異なる。今年3月、1週間ほど中国を旅行し、生活習慣の違いを見聞した。その一部を紹介したい。

- 食事は、器に盛られた料理を皆でつつきながらするが、持った椀と箸は最後まで離さない。酒を注いでもらうときも手に持っている。

調理人が店の入り口まで出てきて、食べながら立ち話をしていた。

- タクシーを借り切って旅行したときは、運転手も食事に同席し、代金は客が支払う。
- 煙草を吸うときは、同席の全員にすすめてから吸う。
- 作業中や話をしているときにお茶を入れて貰うなど、感謝の意を表現する方法のひとつに、軽く拳を握り、指関節のところでテーブルを軽く叩くことがある。皇帝がお忍びで市中に出たとき、皇帝であることを知られないように臣下に対して行った古事によるらしい。
- トイレにドアが無く、隣とは1mほどの高さの仕切りがあるだけである。用を足すときは、正面を向いて、つまり、敵に背を向けないスタイルである。驚いたことに、煙草を吸いながら向かい側で用を足している人と話をしていた。

外国人専用のホテルや高級レストランではこのようなことはないが、中国を旅行するときはくれぐれも注意。なお、公衆トイレではチップが必要。

世界各地の情報がメディアを通じ紹介されているが、蛇や鼠などの料理もある。因みに、鳥料理には指、とさか、腸も調理されて出され、魚は、頭や三枚に下ろした骨、尾鰭も食材として売られている。

左のドアには狗、右のドアには羊と書かれた食堂もあった。

蛙（蛙は捕獲が禁じられているが、田舎の食堂ではありつける。一般には養殖蛙。）は、中国でおいしかった料理の一つだった。



産業連関表

分析情報グループ

課長補佐 室町 國照

昭和47年頃だったと思う。私は総合開発部(現企画部の前身)特定開発課に所属していた。当時、米軍の水戸対地射爆撃場の返還後の跡地利用構想を県と関係市町村とでワーキングチームをつくって策定作業をしていた。この構想は流通港湾を中心に広域都市を建設しようとするもので、連日、この構想づくりに追われていた(この射爆場は後、昭和48年3月15日、米軍から日本政府(地元)に返還

され…現在の常陸那珂地区開発計画となっている。)。その時、私は初めて「産業連関表」というものを知った。「これは難解な、容易ならざるものだ」と驚きを持った印象がある。「あそこに港をつくり、1,000万トン(年間)の貨物を取扱った(陸揚げした)ら、県内産業に…どういう影響(経済的)を及ぼすか…。」上司から「産業連関表」をつかって検討してはどうか?との指示があり、悪戦苦闘し、随分冷や汗をかいたものだ。当時はこの他、将来人口の予測やら、財政規模(経済成長率を踏まえた)の推計などの作業をした記憶がある。その度に統計課に急行し、資料を閲覧したことが思い出される。20年余経った今…私は統計課に赴任し、統計業務を担当することとなり、多くの統計資料を見るにつけ、その充実の度合に隔世の感を禁じ得ない。とくに「産業連関表」は茨城県版が既に3回作成されており、「あの昔(当時)にこれがあったなら…上司の指示に応えられた(私の評価も上がった)のに…。」と悔やんだりしている。

本県の経済構造は全体として外部に依存しているといわれる。これまで多くの公共投資、民間投資を行ってきたが、県内に投資効果がいかにあるのか。私はこれからもこの「産業連関表」に注目していきたいと思っている。



励 ま し

消費生活グループ

課長補佐 川上 忠行

人にほめられて悪い気のする人はいないであろう。ちょっとしたことであっても、ほめられ、励

まされれば、うれしい気持ちになり自信をもつようになる。

ある時、私は身内の者から結婚式の媒酌人を頼まれ、その人の依頼ではやらないわけにはいかないという思いで引き受けたことがある。何とか立派な結婚式をと、あいさつの内容も事前に工夫して当日に臨んだ。人前で話すことが苦手で、話術など全くゼロの私は、媒酌人あいさつも冷汗ものだった。話し終ってホッとしたものの、通り一遍の話だったなと後悔と反省の念で一杯だった。しかし、誰かがお世辞も十分含めてであったが、「よかったよ」と一言言ってくれた。その一言が私の心をうれしくさせたものだ。人の心は、微妙である。ある人から、「コロコロ変わるのも心というのだそうだ」と聞いたことがある。日本人は、ほめることが下手なそうである。とくに、男性はそのようだ。私なども、どうもほめるとか励ますということを通常思いつかないことが多い。

現在我が家でも思春期の子供をかかえ、その対応に悩んでいる。欠点とかミスばかりが目につき、つい叱ってばかりいる。しかし、欠点のない人がいないように長所のない人もいない。ちょっとした長所とかちょっとした良い行為に対して、ほめてあげれば、そのことが大きな自信をつけることになり、深い信頼関係を築くようになると思う。

このことは、とくに若年層になる程、顕著であろう。未来からの使者といわれる若い人を大切にするためにも、励ましを心がけていきたいものだ。



登山への憧れ

人口労働グループ

係長 稲見 まり子

私の山との出会いは、社会人として勤め始めたばかりの頃、習い始めた夜間部の洋裁所で知合った友達二人と私の計三人による、尾瀬行きに始まる。リックサックや服装とて今ほどにしっかりした物はなく、今からその当時は思いやるにただ尾瀬への憧れだけの勢いで出掛けたと思う。靴は運動靴で、底と足の指先の周りだけがゴム製のズック靴だ。それでも自分で編んだ毛糸の靴下を履き予備用の靴下は綿であった。新宿発23時？分かは忘れたが、沼田駅に着き、バスを乗継ぎ、富士見小屋で明け方近くまで仮眠した。登山道は今ほどに整備されてなく、歩き始めて最初に着いた所は、アヤメ平だった。そこはアヤメなど無くて泥田の様なぬかるみだったことが印象に残っている。そして“ミズバショウ”と一緒に緊張した面持ちで撮ったポーズをはっきりと覚えている。

その翌年も尾瀬に憧れ出掛けているが、その時やっと見付けた登山靴は、私の足には少し大きくて靴の先に綿やら布を詰めて履いて行った事を思い出す。この頃はカラーフィルムの出始めで、憧れの尾瀬でミズバショウと一緒に写真を撮ろうと、写真屋に聞いたのだが、大切に取って置きたい写真なら、まだカラーの出始めだから出来具合に責任が持てないと言うので、好天氣に恵まれた憧れのひうちがたけ燧ヶ岳(2346m)の山頂で撮った白黒写真が記念として残っている。

その後職員課の行事である最後の富士登山に参

加し、最初の尾瀬にも参加したが、今も山友達に恵まれている私は、今年も待望の燧ヶ岳に行けようである。



溪流釣りと私

商工農林グループ

係長 水越 隆之

この度の定期異動により、統計課へ勤務することになりました。今後ともよろしくお願い致します。

私も、いくつかの趣味を持っていますが、そのなかでも、溪流釣りが特に好きです。

日常生活、都会の雑踏から離れて渓谷に入れば、谷底を早走る流れは大小の落ち込みを連続させ、白泡たてたり青淵を湛えあくまで清らかであり、またいたるところに奇岩・大石が屹立させた変幻自在の美しい景観は、出掛けるたびに新しい感動を、私に与えてくれるのが理由のひとつです。
・最近では、美人の渓谷が少なくなり、ブスな渓谷(人工の構造物が多い河川)が増えてきているので、少し淋しい気がしています。

また、山河の奥に息づく動物との出会いもあります。暗い山道で車を走らせ、カーブを曲がった所でキツネとばったり鉢合せ、驚いたキツネは数メートルもジャンプして、こちらがビックリした事。(ケガをさせなくてよかった)ある沢を遡行している時、前方を素早く人影が横切った、しかし、人にしては小さいのでよく見ると、それは野猿であったり、後ろで物音がするので振り返るが何もない、そこでなにげなく上を見ると、リスが木

の小枝から私を見て「なにしてるの?」とでも言っているようで、つい微笑んでしまいます。これも、山釣りならではの出来事です。

・但し、熊さんとのご挨拶だけは、これからも、ご遠慮申し上げます。

そして、季節ごとに美しく色彩を変えてゆく樹木、草花達、そうした、大自然の中に身を置く日々の雑念やストレスは消えてしまいます。これも、私の、一服の清涼剤となっているのです。

自然の素晴らしさに魅せられ、山河を彷徨することすでに20数年、これからも、出来るだけ長く続けられるよう願っています。それは、心身ともに健康でなければ、出来ないことだからです。



「統計」について思うこと

消費生活グループ

主任 團 雷 太

4月の定期異動で統計課にお世話になることになりました。よろしくお願いいたします。

「統計」について思いつくままに書いてみたいと思います。

まず、「統計」とは高度な数学を使った難しいものだという印象があります。学生時代に習った統計学をイメージしてしまうからでしょうか。

しかし、4月も半ばを過ぎ、自分に与えられた仕事に関する書類を見ているうちに、数字を基礎とはしますが、統計学そのものではないということが分かり安心した次第です。

次に「統計」とは、われわれが何かをするうえでの基本になるものだという事です。

例えば、今後5年間の経済成長率を予測するとき、基本になるのは種々の経済に関する統計データであることはいまでもありません。

そして統計データから算出されたこの経済成長率は、企業経営や個人々の消費活動などいろいろな方面に影響を及ぼします。これはほんの一例に過ぎませんが、いずれにしても正確な統計データがすべての基礎になる訳です。

このような重要な意義をもつ統計という仕事の一翼を担うことは光栄なことではありますが、職責を十分に遂行できるかどうか心もとない限りです。いずれにしても精一杯がんばりたいと思いますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



電車通勤

商工農林グループ

主事 平 井 啓 子

4月の定期異動に伴い、私は就職してはじめて電車で通勤しています。

県職員になって今回が2度目の異動なのですが、今までの職場は敷地内に駐車場があったので、多少の交通渋滞を我慢すれば電車の時間などを気にすることもなく、好きな音楽を聞きながら車で通勤することができたのです。

電車通勤も、はや1ヵ月が過ぎようとしています。まだ体が慣れていないせいか朝の通勤時間帯は座ることもできず、大変なエネルギーを消耗しているような気がします。

学生時代も電車通学をしていた私は改めて体力

の衰えを実感しながらも、電車の中で元気な高校生たちの話し声を聞いていると、時々あの頃の自分を思い出したりします。

“そういえば、高校時代、朝電車に乗り遅れそうになって家から駅まで猛ダッシュし、幸い電車には間に合ったものの気分が悪くなって途中で降りて家に帰ったことがあったな…”とか、“朝出がけに顔を洗っていたら、小指を鼻の穴に入れてしまい鼻血を出してしまっただけで遅刻をしたのに、先生は信用してくれなかったな…”など、どうでもいようなことばかり頭に浮かんでいきます。

自分では高校生の頃とそんなに変わっていないような気がしても、やっぱり思い出があるということはそのだけ年月を重ねているのですね。

10年後、20年後にまた同じような経験をした時に、その時は“20代の私を思い出すのかな”などと考えながら慣れない電車通勤をしています。



就職すると……

普及指導グループ

主事 大友直樹

学生の頃、就職すると痩せるという話をよく耳にしました。長く一人暮らしをし、怠惰な生活を送っていた人間にとって、これは期待を抱かせるには十分すぎる言葉です。ところが何事にも例外というものがあるように、自分の場合も就職してから体重が減るところか逆に増加してしまったのです。

単に体重が増えるだけならさほど問題はありませぬ。ただ体重とともにウェストも増すと一大事

となります。同じような経験をされた方もいるでしょうが、今まで身に付けることのできた服がきつくて着られない…。ベルトも今までの穴では締まらない…。

このようなとき、自分とはとるべき道は二つしかないと考えます。第一の選択肢は、体に合った新しい服を買うこと。第二は、服に自分自身の体を合わせることです。そして当然のことですが、自分は前者ではなく後者を選びます。

そこで腹筋、腕立て伏せ、スクワットといった室内でできる簡単な運動を毎日少しずつではありますが、はじめることにしました。最初は思うように体が動かず、また筋肉痛にも悩まされましたが、最近はどうやらその段階は乗り越えられたみたいです。

きっと今年の夏までには間に合わないでしょうが、秋口頃には仮面ライダーのような見事な腹筋ができあがることを今日も夢見て体を動かしています。



冷蔵庫

分析情報グループ

主事 根本雅恵

この度、統計課にお世話になることになりました。どうぞよろしくお願い致します。

私は3月まで茨城県警に勤務しておりましたが、職場には必ず冷蔵庫が1つぐらひはあるものです。職場の冷蔵庫というのはまさしく「人のものは自分のもの」のルールが支配する世界で、無くなっても文句はいえないから大事なものは入れるなど

言われましたが、幸い品行方正な人達が多かったのか大した食害は受けずに済んだようです。しかし冷蔵庫の中には時々珍妙なモノが入ってることがあり、観察しているとおもしろいものです。目薬をひやしていたり、一体誰がこんなにお昼を食べるのに情熱を傾げるのか、冷奴や刺身や生姜が入っていたりしました。

ここだけの話ですが、前の職場に当時独身のTさんという人がいました。自炊生活が功を奏して？栄養不良気味だった甘い物好きのTさんは、お菓子や到来物があると3人前ぐらい平らげる人でしたが、彼は女性陣の「リトマス試験紙」だったのです。冷蔵庫の中の「ちょっとこれ大丈夫かしら？」というものは、彼に（自発的に）試食してもらい、「うん、うまい」のお墨付をもらってからはじめて食べたり、在庫整理をしてもらったりしたものです。もっともこうしたことを繰り返しているうちに、彼の胃腸と肝臓の解毒作用が鍛えあげられて俗人離れし、もはや一般人の尺度としては通用しなくなったようです。

何はともあれ、至らぬ点も多いと思いますが、よろしく御指導お願いします。



挨拶

消費生活グループ

主事 植木利佳

本年度より新規採用職員として統計課へ配属となりました。みなさんどうぞよろしくお願い致します。

ところで、私が学生時代より大切にしている事

があります。それは挨拶です。人と会った時に大きな声で挨拶する事は本当に気持ちの良いものです。4月3日、初めての登庁の時、県庁構内ですれ違うすべての方々に「おはようございます！」とそれはもう満面の笑顔で挨拶をしました。すると、何人かの方は挨拶を返してくれました。しかし、中には挨拶を返してくれず、つかつかとそのまま通り過ぎてしまう方もいました。この時私は、「県庁へ勤めている方というのは、少し気難しいのかな。」などと、勝手に思い込み、余計な不安を抱いていました。ところが後々考えてみると、特に朝などはサラリーマンやOLの方も構内を通っているということがわかりました。それで挨拶を返してもらえなかった理由がわかりました。それもそのはずです。サラリーマンやOLの方から見れば、私など見ず知らずの女性なのですから。突然挨拶をされても、普通は困ってしまいます。

しかし、私はもっとみんながオープンな気持ちで、気軽に挨拶を交わせるようになると良いのではないかと思います。朝、「おはよう」のひと言が言えたか言えないかで、その日の気分というのは違うと思います。今まで挨拶を疎かにしていた方、今日から早速実践してみたいかがでしょうか。